

アートセンターの「ヴィジュアル・アイデンティティ」って何？

あまらぶアートラボのロゴを勝手に書き換えるデザイン展！

Design Brief

Project Title:

A-Lab Visual Identity (VI) Design Revamp Competition

Facility:

A-Lab (Amagasaki City)

Client contact:

Tetsuya Goto, Out Of Office
gotoatwork@gmail.com

Budget:

100,000 JPY for participation fee (including tax)

Overview:

A-Lab, a municipal art center in Amagasaki, Hyogo Prefecture, Japan was established in 2015. In order to celebrate its 5th anniversary and to gain more publicity, we will hold a design competition to examine the possibilities for better visual identity.

Objectives:

A-Lab was designed to give young artists an opportunity to show their work. Another aim of the center is to provide young people, including children, a chance to encounter the arts free of charge. Therefore, the visual identity of A-Lab should express a challenging, open and friendly attitude.

Target Audiences:

- 1) Young people including elementary school students.
- 2) People working in the art world

Scope:

Visual identity (i.e., logotype)

Format:

- 1) Visual identity in real usage (signs, displays, etc.)
- 2) Sketches showing the creative process
- 3) Exhibition posters that uses the visual identity proposition
- 4) Designer's portfolio that are relevant to this project

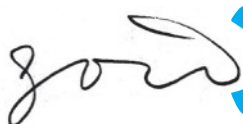
Success Criteria:

We will hold an exhibition to display the visual identity in A-Lab, and decide which works are the best. Judgement will be made by the client and audience.

Schedule:

Design proposal to be completed by 31 January 2020.
Exhibits to be delivered to A-Lab by 14 February 2020.
Winner to be selected by 30 March 2020.

Signature:



Name:

Tetsuya Goto

Date:

6 January, 2020

2020年2月22日(土)-3月30日(月)

@ あまらぶA-Lab

鈴木哲生
Tezuo Suzuki (Japan)

Gregory Ambros (France/Japan)

Studio SSS (The Netherlands)

Kontepunkt (Denmark)

アイデンティティのキキ

2020年2月22日(土)-3月30日(月) @ あまらぶA-Lab

あまらぶA-Labの架空のヴィジュアルアイデンティティ(VI)を、ヨーロッパと日本のデザイナー3組が勝手にデザインする展覧会。アートセンター／美術館のVIを通じて、デザイナーがどのように課題に取り組んでいるのかを考えます。

グレゴリー・アンボスと鈴木哲生

Grégory Ambros + Tezzo Suzuki

グレゴリー・アンボス ロンドンを拠点とするデザイン事務所Zak Groupの元パートナー兼クリエイティブディレクター。シカゴ建築ビエンナーレ、台北ビエンナーレ、ベルリンビエンナーレ、リスボン建築トリエンナーレなどの大規模VI、ならびに、出版物、展示会などを手がけてきた。現在、フランスと日本を拠点に活動している。



台北ビエンナーレ2012 VI Image: © Zak Group

コントラプンクト

Kontrapunkt

北欧を代表するデザインエージェンシー。コペンハーゲンと東京のオフィスに、60人以上のデザイン、ブランディングのエキスパートを抱える。日本でも積極的に活動を展開。これまでに資生堂S/PARKやTASAKI、東大阪市などのVIや独自書体を手がけている。

<https://www.kontrapunkt.co.jp/>



資生堂グローバルイノベーションセンターS/PARK VI

スタジオ・スパス

Studio Spass

オランダ・ロッテルダムのデザインスタジオ。プリントメディア、ブランディング、ウェブ、そして空間デザインに至るまで幅広い領域で活動している。Jaron KorvinusとDaan Mensによって2008年設立。精緻なアプローチに遊び心あふれる感覚を組み合わせたデザインが特徴。

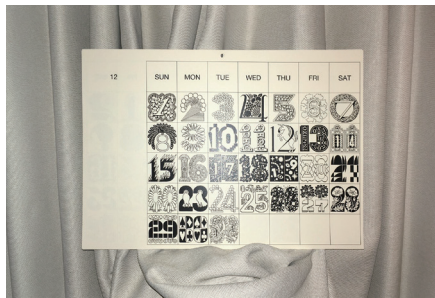
www.studiospass.com



ソウル国際タイポグラフィビエンナーレTypojanchi 2015出展作品

鈴木 哲生 グラフィックデザイナー。1989年神奈川県生まれ。東京芸大デザイン科卒業後、隈研吾建築都市設計事務所を経て、2015年にKABKデン・ハーグ王立芸術アカデミー タイプ&メディア修士課程修了。

tezzosuzuki.com



カレンダー-19

アートディレクター | 後藤 哲也 | Tetsuya Goto

近畿大学准教授／大阪芸術大学客員教授。グラフィックデザインの実践と研究に軸足を置きながら、アジア〜欧州のデザイナーとのネットワークの構築にも取り組んでいる。著書に『YELLOW PAGES』(誠文堂新光社)、展覧会企画に『FIKRA GRAPHIC DESIGN BIENNIAL 01』、『GRAPHIC WEST 7: YELLOW PAGES』、『グラフィズム断章:もうひとつのデザイン史』などがある。 www.outofoffice.jp

特別展示
**香りの
アイデンティティ**
協力: @aroma

近畿大学文芸学部文化デザイン学科感性学系岩城寛久・深津恵(アットアロマ株式会社)共同ゼミの学生(五十嵐 真子、高井 由実菜、山内 梓早、坂上 晴香)がアットアロマ株式会社と協働して、A-Labの「香りのアイデンティティ」をデザイン。会場内にその香りを「展示」します。

イベント

ギャラリートーク

3月14日(土)
14:00-15:30
スピーカー: 後藤 哲也、
西 まどか(アイデア編集長)
定員: 30名
参加費無料

ワークショップ

Kontrapunkt
2月29日(土)
講師: マーカス・マヘチャ
(コントラプンクト)

Grégory Ambros + Tezzo Suzuki
3月15日(日)
講師: グレゴリー・アンボス、
鈴木哲生

いずれも参加費無料

※時間・お申し込み方法はサイトにて後日発表します



サイン制作・設営協力

看太郎(廣田 碧) | Midori Hirota

あまらぶ アートラボ A-Lab

A-Lab Exhibition Vol. 22

入場料無料 | 火曜日休館

月・水〜金: 午前11時〜午後7時
土・日・祝日: 午前10時〜午後6時

主催 尼崎市

問合先 市役所文化振興担当

☎ 06 6489 6385

FAX 06 6489 6702

(イベント開催時はA-Labまで)

☎ / FAX 06 7163 7108)

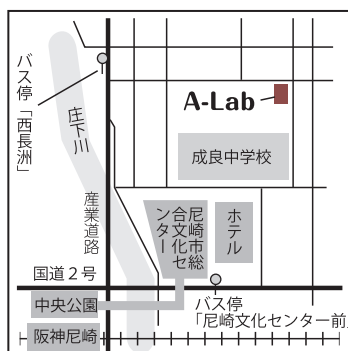
所在地 尼崎市西長洲町2-33-1

尼崎市西長洲町2丁目33-1
(一般用駐車場はありません)

【阪神尼崎駅から】北東へ徒歩15分、または、阪神バス11・22・23系統 阪急園田行き、阪急バス 阪急塚口行き「西長洲」下車 東へ徒歩5分
【JR尼崎駅から】阪神バス11・23系統で「西長洲」下車 東へ徒歩5分
【阪急塚口駅から】阪急バスで「西長洲」下車 東へ徒歩5分

www.ama-a-lab.com

f @amalove.a.lab



助成



令和元年度
文化庁
文化芸術創造拠点形成事業

協力

